

# 松阪牛

かわら版  
11号

## 東京へ初出荷



### 36頭 トラックに揺られ

1月5日、松阪牛の東京への初出荷作業が、松阪市大津町の全農みえ家畜市場であり、36頭がトラックの荷台で揺られ、東京へと出発しました。約7時間に及ぶ長旅の始まりです。

この日、自慢の牛を送り出したのは、松阪、津、伊勢、多気の4市町の18農家。家畜市場には朝から、次々と牛が運び込まれ、県松阪食肉公社の職員らが、牛の血統などが書かれている登記書と、牛の耳に装着されている「耳標」の番号を1頭1頭照合。精肉と個体との整合性を確認する場合のDNA検査に備え、毛根を付けた状態で尻尾の毛を数本ずつ抜き取り、密閉式のビニール袋に入れて保管しました。

トラックの運転手さんの話では、「高速道路の一部無料化の影響で渋滞に巻き込まれることもある」とのこと。2時間置きにパーキングエリアに立ち寄り、牛の健康状態に気を配りながら、東京都港区の東京中央卸売市場食肉市場を目指すということです。

注目の初競りの結果は、枝肉1頭あたりの平均でみると、30頭が上場した昨年の初競りよりも、10万9055円安い121万5392円。枝肉の重量も、9.1kg軽い438.3kgでした。



# 11月28日「松阪牛まつり」盛大に



平成 22 年 11 月 28 日、松阪牛最大のイベント「松阪牛まつり」が、松阪市伊勢寺町の松阪農業公園ベルファームで盛大に開かれ、3 万 3 千人の来場者でにぎわいました。

メインイベントの「第 61 回松阪肉牛共進会」では、審査の結果、度会郡大紀町の中村紀一さんが家族で育てた「みらい」号が、優秀 1 席に輝き、競りでは津市の朝日屋さんが 2010 万円の高値で落札しました。



今回は、松阪牛の中でも、兵庫県産の子牛を 900 日以上肥育した「特産」を PR しようと、資料を元に、特産松阪牛について学んで、実際に味わう「学んで食べる特産松阪牛」を初企画。

共進会の出品牛を間近で見学できる特典もあり、参加いただいた方からは「ぜひ次回も」との声が上がっていました。

## 信託の証

### 松阪牛個体識別管理システム

昨年 12 月、松阪肉牛協会に加入する、北九州市の食肉店が、百貨店内の精肉店で、九州産の牛肉を松阪牛と偽って販売していたことが分かりました。

同協会会長の山中光茂松阪市長は市役所で会見



し、この食肉店の除名処分を発表するとともに、「松阪牛個体識別システム」を PR。「システムのシールを目印にしてほしい」と、呼び掛けました。

### 全国肉用牛枝肉共励会 堀坂さん 最優秀賞

昨年 10 月に東京食肉市場で開かれた、「全国肉用牛枝肉共励会」で、「堀坂牧場」さんが出品した、松阪牛「さちひさ」の枝肉が最優秀賞を受賞し、堀坂剛社長が松阪市役所の山中光茂市長に報告しました。



発行 松阪市役所農林水産課畜産係 三重県松阪市殿町 TEL0598(53)4119

松阪牛協議会ホームページ <http://www.matsusakaushi.jp> もご覧ください